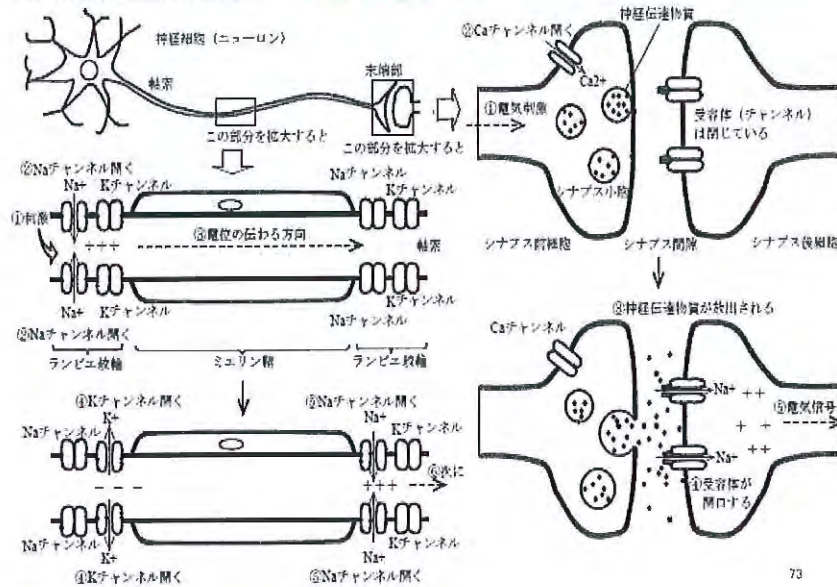
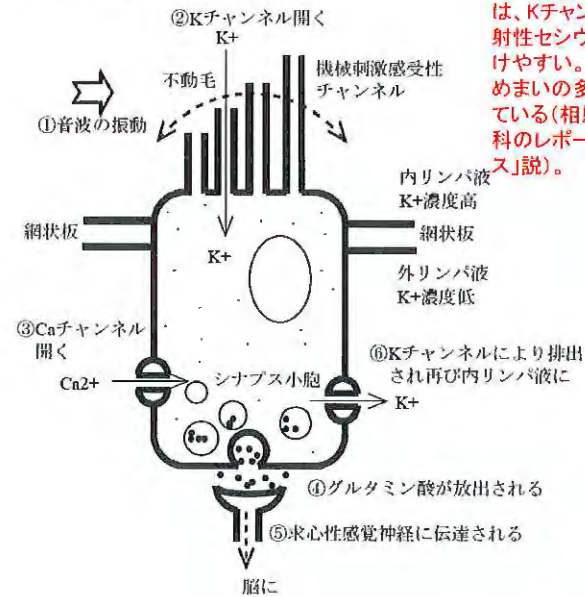


[1] 神経細胞内における情報伝導 神経系への影響 [2] 神経細胞間での情報伝達



[4] 聴覚器官の有毛細胞の働き



聴覚器官(平衡感覚器官)は、Kチャンネルであり、放射性セシウムの影響を受けやすい。福島では難聴やめまいの多発が報告されている(相馬総合病院耳鼻科のレポート、ただ「ストレス」説)。

放射線によるイオンチャンネル系の障害の影響はきわめて広い範囲に及ぶ

- 心臓(とくに収縮を制御する電気刺激とその伝達系)
- 神経系(とくに神経情報の伝達系)
- 脳の精神活動(とくに脳内の情報伝達系)
- 感覚器官(とくに難聴、めまい、失明)
- 骨格筋(とくに運動や歩行の困難)
- 平滑筋のある内臓や血管
- 内分泌系(とくに甲状腺など)
- 泌尿器系(とくに膀胱・腎臓など)
- 乳腺
- 水晶体

大山敏郎氏のブログから

例:トモダチ作戦被曝米軍兵士の症状

- がん・腫瘍(骨膜肉腫、白血病、腫瘍、甲状腺、脳、精巣など多数)
- 遺伝性障害(多発性遺伝子変異の子供を出産)
- 筋肉・運動神経障害(脚けいれんのため車椅子、股関節、脊柱、大腿部、全身けいれん、膝、みけん、背中、首、右半身の麻痺や痛み、かかと関節、脱力など非常に多い)
- 脳・精神障害(意識喪失、うつ、不安、偏頭痛、睡眠障害、記憶障害など多数)
- 感覚障害(失明、瞼の腫れ、難聴、耳鳴り、目まい)
- 生殖系障害(生理不順が多数)
- 免疫系障害(アレルギー)
- 代謝系障害(バゼドウ病、甲状腺機能不全、肥満、体重減)
- 消化器系疾患(潰瘍、胃けいれん、下痢、嘔吐、消化不良、出血)
- 呼吸器疾患(呼吸障害、咳)
- 循環器系(高血圧)
- その他(鼻血、発熱、疲労、肩甲骨肥大)

ここまでの結論:

放射線被曝は、がんにとどまらず、
ほとんどあらゆる種類の病気や健康被害をもたらす

77

日本政府の福島事故健康被害ゼロ論1

- 安倍首相の記者会見での外国人記者に対する回答→「健康に対する問題は、今までも、
現在も、これからも全くないということをはっきりと申し上げておきたいと思います」

2013年9月7日 オリンピック東京招致決定時の内外記者会見。首相官邸のホームページにあります。

- 環境省の「東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門家会議」の「中間取りまとめ」(2014年12月22日) がん、遺伝性影響、不妊、胎児影響、白内障が「今後増加することは予想されない」

78

政府のゼロ被害論は本当か？

78

健康被害ゼロ2: 振り返れば「鼻血論争」の新しい意味→マスコミと一般人に対するゼロ論の押しつけキャンペーンだった

「鼻血さえ被曝の影響ではないのだから、まして被曝によるがんやその他の重い病気など考えられない」

「被曝によって鼻血が出たと言うことが風評で、やってはならないのだから、ましてや被曝によってがんや心臓など病気が増えた言うことはいっそうひどい風評で、ますますやってはならない」

80

日本政府の福島事故健康被害ゼロ論3

- 福島県県民健康調査検討委員会「県民健康調査における中間取りまとめ」 2016年3月「これまでに発見された甲状腺がんについては…総合的に判断して、放射線の影響とは考えにくいと評価する」
- 現在、政府による福島の高汚染度地域への住民帰還政策(20~50mSv 地域へ10万人)

放射線防護という基本原則の否定

- このような福島原発事故による健康被害が最初から「想定されない」「検出できない」ことを前提にする議論は、ICRPなど国際的な放射線防護団体の基本的見解に違反する
- 住民に対する放射線防護という基本原則を否定し、住民の基本的な人権を踏みにじるもの
- (以下に資料掲載、説明は省略)

だが、政府の放射線医学総合研究所が出版している書籍を見てみよう



同書には、国際的な放射線防護機関が10万人が100mSv被ばくした場合に予想される過剰な(追加的な)がん死者数推定のリストが記載されている(162ページ)。

種々の報告による10万人が0.1Gy (100mSv) 被曝した場合の生涯リスク*1

	対象集団	白血病	白血病以外のがん	DDREF**2
BEIR-V [1990]	米国人	95	700	考慮せず*
ICRP Pub. 60 [1991]	米国人、英国人、中国人、プエルトリコ人、日本人	<u>50</u>	<u>450</u>	2
EPA [1999]	米国人	56	520	2
UNSCEAR [2000]	米国人	60	780~1400*3	考慮せず*
BEIR-VII [2005]	米国人	61	510	1.5
ICRP Pub. 103 [2007]	米国人、英国人、中国人、プエルトリコ人、日本人	28	398	2
UNSCEAR 2006 [2008]	米国人	7~52*3	455~1040*3	考慮せず*

*1 全年齢の男女10万人の集団が0.1Gyに被ばくした場合の生涯過剰がん死亡数。

*2 白血病以外のがんに対する線量・線量率効果係数。

*3 複数のモデルが用いられており、モデルによって値は異なる。